

事務事業名 ちくしの高年大学事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：636

施 策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	--
基本事業：	02	生涯の学びを地域で活かせる人づくり	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	地域で活動する人材の育成人数 生涯学習ボランティア新規登録数 自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体の数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度		～		新規・継続	継続	会計区分		実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）					2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
60歳以上の市民					【日程等】 5月～12月、原則第1・3火曜日（最大受講期間は、4年間） 受講料：無料（教材費及び館外研修費等は、自己負担） 【講座内容】 教養講座：教養を高めるための講座等（年6回） 専門講座：郷土史、絵手紙、絵画等から選択（年6回） クラブ活動：ボランティア実践のための技術修得の学習（中止） 社会参加活動：夏休み工作教室、高齢者サロン訪問（中止） その他：交流会（中止）、館外研修（郷土史1回） 【手順】 前年度受講生（終了生を除く）への開講案内→受講生受付→開講通知 →オリエンテーション→開講					
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
高齢者が生涯を通したいいきがいを見つけるための学習の場を提供し、それぞれの豊かな経験を生かした知識と技術で社会参加（ボランティア）を実践する。										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標	
受講者数		人	50	31	70	70			70	
受講修了者のうち地域等で活動している人の割合		%	35	0	100	100			90	
5．コスト										
事業費		計	千円	217	171	373				
		国	千円	0	0	0				
		県	千円	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0				
		一般	千円	217	171	373				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費		千円	773	782	802					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	990	953	1,175					
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている ○どちらかといえばあがっている ●あがっていない（停滞・低下）		今後の高齢者を対象とした学習支援のあり方を検討中のため、受講生の新規募集を控えており、受講者数は減少した。一方で、コロナ禍では中止していた教養講座（知っ得セミナー）や館外学習（郷土史）を開催し、受講生同士の交流を図ることができた。								
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		○維持 ●見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
高齢者を含めた市民を対象とする学びの循環と人材育成を目指す場として、今後の学習内容や学習支援のありかたについて受講生の意見を聞きながら、協議・検討を進める必要がある。										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進捗管理欄						
今後の高齢社会に向けて、高齢者が豊かな経験を生かして、社会参加を実践するとともに、受講生相互の親睦を深める学習の場を提供するため、平成13年度から事業を開始した。										